

年度計画の実施状況における
特色ある取組について

平成23年2月

和歌山県立医科大学



18年度特色ある取組

- 科学研究費補助金獲得額の大幅な増加
 - ・ 18年度 175,840千円 (17年度 137,200千円)
 - 前年度比 28%増
 - 産官学連携推進本部の新設
 - ・ 外部資金獲得へ
 - がん診療連携拠点病院の指定を受け、
地域がん診療の改善に取り組む
-
- ドクターヘリ運航時間延長による救急医療の充実
 - ・ 運行開始時刻の変更(9:00→8:00) 運行件数347件

19年度特色ある取組

- 保健看護学研究科及び助産学専攻科開設
(修士課程)
 - 研究科定員 12名 専攻科定員 10名
- 附属病院が医療機能評価機構に認定される
 - 医療の質の向上
- がん診療連携拠点病院として化学療法センターの設置等
- 人事の適正化のため医学部全教員に任期制導入

20年度特色ある取組

- 医学部入学定員25名増員(60→85)
 - 一般枠60名 県民医療枠20名 地域医療枠5名
- 大学基準協会から基準適合と認定される
- 栄養サポートチームの積極的な活動
地域連携室の充実
- 附属病院の平均在院日数の短縮、新入院患者数の増加、診療収入の増加など一定の成果が認められる
 - 平均在院日数 17.6日→16.6日
 - 新入院患者数 14,343人→14,867人

21年度特色ある取組

- 医学部入学定員10名増員(85→95)
 - 一般枠 70 県民医療枠 20 地域医療枠 5
- 三葛キャンパス内「医学部三葛教育棟」供用
 - 医学部一年生対象
- 附属病院の平均在院日数の短縮、新入院患者数の増加、診療収入の増加など一定の成果が認められる
 - 平均在院日数 16.6→16.5
- 委員会の廃止・統合や事務組織の改善が行われた。
 - 委員会数減少130→119
 - 監査室の設置及び事務組織の再編

(法人の基本目標)

高度で専門的な学術の教授研究、資質の高い人材育成、地域医療の充実により地域の発展に貢献、健康福祉の向上に寄与

23年度計画 基本方針等

大学

若手研究者支援等 研究設備等の充実

主な取組

- 新卒者の医師国家試験合格率の向上
- 大学院修了者等に対する研究奨励金の支給
- 基礎医学部門に必要設備の整備
- 産官学連携推進本部の発足

附属病院

地域医療及び 救急医療支援

主な取組

- 救急外来整備、褥瘡防止及び小児医療拡充整備(県立総合医療センター)の推進
- 介護看護体制の充実
- 県上での連携による地域医療支援
- 病前・病中・病後連携の構築

業務運営等

経営の効率化等

主な取組

- 医薬材料費の診療収入比率の改善(前年度比)の達成を目標
- 病床稼働率の向上(前年度比)と手術の向上(総手術時間)の達成を目標
- 救命率の向上により病状改善率を向上させ、効率的な病状改善を目標とする

自己点検等

点検、評価の充実 施設の整備等

主な取組

- 病院機能評価の認定更新
- 地域医療支援総合センター(仮称)の基本設計等